

1. 評価報告概要表

作成日 平成 20年5月30日

【評価実施概要】

事業所番号	1170600645
法人名	(有) 晃健
事業所名	グループホームみんなの家「春日部・やなか」
所在地	〒344-0021 埼玉県春日部市大場675-1 (電話) 048-738-5000

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	〒330-8529 埼玉県さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成20年5月28日

【情報提供票より】(平成20年5月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成15年7月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 7人, 非常勤 10人, 常勤換算	15.6人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 2階建ての1階～2階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	10,000円+実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(120,000円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	350 円	昼食	450 円
	夕食	450 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(平成20年5月15日現在)

利用者人数	17 名	男性	3 名	女性	14 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	8 名	要介護4	2 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86.7 歳	最低	74 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ういずクリニック、春日部厚生病院、高木歯科クリニック
---------	----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、最寄の駅からは少々離れているものの、とても良い環境の中に建っている。大手グループホームのフランチャイズだが、独自のホーム作りが行われている。現在開設してから5年が経過しているが、とてもきれいに手入れをしており、内部も広々とした作りとなっているため、利用者の動きが把握しやすい構造になっている。ベテランの職員も数名おり、個々のペースに合わせた介護をしている様子が伝わってくる。また、ホーム長が積極的に利用者とかかわり、盛り上げ楽しんでいただきたいとの思いが職員にも伝わり、よい雰囲気を作り上げていることが伺えるホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員には外部評価の意義を会議で伝えるとともに書面でも説明している。また、評価結果についても再度話し合いの機会をもち検討をしているが、前回の提案事項について、具体的な取り組みや計画は十分に行われていない。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>一部の職員により自己評価表が作成されている。自己評価への職員全員での取り組み、自己評価表の活用までには至っていない。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は定期的開催されている。メンバーは、家族、市役所職員、地域包括支援センター職員、民生委員、自治会長、近隣住民の方々が参加しており、近況報告を行ったり、意見を出し合うことでサービスの向上に活かしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族への定期的報告がある。また、意見、不満、苦情などを気軽に話せる雰囲気作りがされており、家族の運営推進会議への参加もあることから、とても良く意見を汲み上げている。外部の人へ話せる機会も作ることが出来ており、その内容を運営に反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会の夏祭りには参加しているが、その他の地域活動までには及んでいない。ホーム設置者が地域の自治会長をされていた事もあり、今後は様々な面での連携に期待できるホームである。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	笑顔の絶えないホーム作りと言う事業所独自の理念をつくり、職員全員が明るい雰囲気作りと、個々の状態に合わせたケアに取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員には理念を周知し、皆で共有が出来ており、理念の実践に向けて取り組むように努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の夏祭りには参加しているが、積極的な地域活動への取り組みまでには至っていない。		ホーム設置者が地域の自治会長をされていた事もあり、夏祭り以外での地域活動への参加や交流などに取り組みやすい状況と思われる。今後は様々な地域活動に積極的に参加することで交流を深め、地域と連携されていくことを期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義を、職員に会議で伝えたり、書面でも説明している。また、評価結果についても再度話し合いの機会をもち検討をしているが、自己評価においては全職員による取り組みはなされていない。		ホームの職員全員で自己評価票を活用することが望まれる。また、前回の指摘事項について、改善計画シートなどを作成し、計画に沿って具体的な取り組みを行うことが、より一層良いホーム作りにつながるため今後の取り組みに期待したい。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの近況報告等を行っている。また、会議には、家族、市役所職員、地域包括支援センター職員、民生委員、自治会長、近隣住民の方々が参加しており、意見を出し合うことでサービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の場で意見交換等が行われているが、それ以外での意見交換はなかなか難しい状況である。地域密着型サービスとして積極的に行政に働きかけて、地域のグループホーム協議会などが出来ることにより、より一層連携が深まることと思われるが、現在のところは市と連携し、サービスの質の向上に取り組むことが出来ている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月に1度のホーム便りや、面会時、電話連絡等で暮らしぶりや健康状態、職員の異動などの報告を行っている。また、急な状態変化があった場合はそのつど報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見、不満、苦情などを気軽に話せる雰囲気があり、運営推進会議の家族参加がある事により、外部の人へ話せる機会も作ることが出来、その内容を運営に反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やむなく離職し職員が変わる場合は、出来るだけダメージが最小限になるように引継ぎをしっかり行い、利用者の気持ちを考えあえて離職する職員のことは大々的に知らせないようにしている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外への研修は、職員に声をかけて参加を促している。		法人内の研修は、継続的かつ計画的に行っていく事を前提とし、年間計画を立て質の向上を目的とすることが望まれる。また、研修に出席できなかった職員にも理解できるような書類を作成閲覧できるような取り組みを期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内のケアマネジャーの集まりと、同業者の一部の職員による施設見学はあるものの、それ以外では接する機会がない。		同市に、グループホームが10箇所以上ある事から、グループホーム協議会等の設置や集まり、同業者の交流等を積極的に行うことが望まれる。行政にも働きかけグループホーム連絡協議会などが出来れば、様々な情報交換が行えるため、こうしたサービスの質の向上につながる取り組みを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気などに徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>サービスの利用を開始する前に、ホームの見学等を行っている。体験利用は行っていないが、家族と連携を取りながら、徐々に馴染めるような努力をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者には人生の先輩としての気持ちを忘れずに接し、本人の思い、苦しみ、喜びなどを知ることにより、喜怒哀楽を共にして支えあい、楽しく家庭的に過ごせるように努めている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの意見を尊重し、顔色や行動に配慮しながら把握に努めている。思いや意向の把握が困難な場合は、本人の視点に立って検討し、その内容を介護計画に反映させることにより職員全員が周知できるようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>計画作成担当者だけの作成ではなく、本人や家族の意向を聞き話し合い、各職員とも意見交換をした上で介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しはもとより、利用者の状態変化に合わせて見直しを行い、本人の視点を考慮しながら家族、関係者の意見を伺い、現状に即した計画を新たに作成している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その時々状況に合わせた柔軟な対応を心がけ、通院時の介護タクシーの紹介なども行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は、本人、家族が選択できるようになっている。医師とは情報交換、連絡のやりとりを行いながら関係を構築し、適切な医療が受けられるように支援している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時または随時、家族と終末期に向けた話し合いを行っている。今後ホームとしても受け入れていきたい意向だが、医療行為の問題や職員の問題等で、現状ではまだ準備が出来ていない状況である。		本人、家族、かかりつけ医等の関係者を交えた話し合いを重ね、終末期における医療処置の対応も含め、職員全員で方針を固め共有していく支援体制の取り組みに期待したい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者への言葉かけや接し方について十分に注意を払うとともに、記録類などは、利用者の目に付かないように事務所に保管し、個々のプライバシーを大切にしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望を尊重し、一人ひとりのペースを大切にしながら、利用者のその時々状態に合わせたケアに取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は委託業者が作っているが、上膳下膳などは利用者にも手伝っていただくようにしている。また、おやつは共同制作などをしており、利用者と職員と一緒に作業することで食事が楽しいものとなるように努めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴時間は基本的に13:00～16:30の間で行っているが、利用者の希望により対応できる範囲内で夕方も入浴できるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	茶碗拭きや洗濯物たたみなど生活の中に役割をもってもらったり、レクリエーションを通じて利用者個々の楽しみや張り合いを引き出すようにしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の気分や希望に応じて、散歩や買い物に出かけ、季節を感じたり、戸外で気持ちよく過ごせるように支援している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかける事への弊害は理解しているが、立地条件的に正面玄関においてはやむを得ず施錠している。そのかわりとして、出来る限り利用者の希望に沿って散歩など外出をするようにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方々の協力、参加を得ながら災害訓練を実施している。また、各職員も機器の取り扱いや避難経路の周知が図られておりマニュアルも作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事および水分における摂取量の管理を行い、体調管理に努めている。食事摂取量については書式にて記入欄があるが、水分摂取量については記入欄がない。		個々の摂取量がわからないため、必要摂取量が確保されているか明確に把握できるような書式の作成が望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気があり壁の色なども落ち着いた色を使用し、居心地良い空間になっている。また、浴室、トイレなども明るく清潔感が保たれている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れたものや、馴染みのもの等を利用できるように、家族と相談しながら居室作りに配慮している。		